

訓

一、人格完成に努むること

じんかくかんせいにつとむること

※以下の事を日常生活にたゆまぬ修行をすることにより、人格完成はなされるものである。

一、誠の道を守ることに

まことのみちをまもること

※誠の道とは、善という真実を見極め善に励むことを意とする。

一、努力の精神を養うことに

どりよくのせいしんをやしなうこと

※努力とは、その時その時だけではなく、常にたゆまぬ努力をするという意。

一、礼儀を重んずることに

れいぎをおもんずること

※自分の人格を示す礼を尽くし、目上・目下・先輩・後輩・分け隔てすることなく尊び、人間性を高める意。

一、血気の勇を戒むること

けつきのゆうをいましむること

※思慮分別のない浅はかで軽々しい言動行動は、絶対にあつてはならない。自制できる強い心を、空手道修行によって磨き上げることの意。